

## 特色ある教育活動

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童に生きる力をはぐくむことを目指して、以下の特色ある教育活動を推進する。

- 児童に基礎的・基本的な学習内容を定着させ、確かな学力の向上を図る。
  - ・校内研究や研修機会の充実による授業力の向上及び授業改善の推進
  - ・算数の少人数授業の実施及び、理科・社会の教科担任制の導入と学力向上支援講師によるティームティーチングなどの指導体制の工夫
  - ・算数の検定（15級程度）漢字検定（年間5回）の全学年実施
  - ・基礎学習の時間（きたえの時間）や補充学習の充実
  - ・学校図書館の活用（読書に親しむ活動：朝の読書、読書週間、図書館の活用、ブックトーク、お話の会、各教科における調べ学習、学校図書支援員との連携）
  - ・ITC教育の推進（書画カメラ・電子黒板等の活用および授業の工夫）
  
- 人と人、人と物とのかかわりを通して、豊かな人間性や社会性、よく考え行動する児童の育成を図る。
  - ・豊かな経験をもった人材や身近な地域の方を活用したキャリア教育の実施
  - ・地域や校内の自然環境や人間関係を生かした環境教育の推進
  - ・異学年と交流を深める活動  
（集団登校、全校・学年遠足、練二ランド、兄弟学年遊び、ランチ交流）
  - ・屋上緑化・バタフライガーデンや学校農園、校内の環境を活用した体験的な学習
  
- 開校70周年記念式典等を通して地域とのかかわりを深め、地域に開かれた学校づくりを推進する。
  - ・地域の教育力を活用した道徳教育や地域とのかかわりを生かした学習等の推進  
（開校70周年記念式典、道徳授業、もちつき大会・貫井囃子、福祉園や保育園、サマースクール）
  - ・地域との交流（葉かげの集いや親子スポーツ大会などの地域行事への協力、敬老会）
  - ・学校応援団児童放課後等居場所づくり事業の充実（わかたけ広場・校庭開放）
  - ・学校サポーターとの連携（安全安心ボランティア・クラブ活動サポーター・父親サポーターなど）
  
- 体育指導の工夫や集会及び休み時間を利用した体力向上への活動を通して、自らの健康の保持増進に主体的に取り組む児童を育てる。
  - ・健康的な生活習慣の形成（規則正しい生活、望ましい食習慣）
  - ・体力の向上を図る体育授業及び体育的活動の充実  
（新体力テストの実施、冬の体力づくり、練二タイム〈週2回の40分昼休み〉）
  - ・食育の推進（栄養士と連携した全体計画の実施）